

2011年6月10日/千葉大学 総合校舎A号館2階A212教室  
アカデミック・リンク・セミナー（第1回）「アカデミック・リンク、はじまる」  
参加者 アンケート 集計結果

当日参加者数：63名

アンケート提出数：39件

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・「情報利用行動定点観測プロジェクト」について興味深く伺いました。アカデミックリンクの効果を見ていく上で大事なアプローチであると感じました（学外/ー）
- ・情報利用行動定点観測プロジェクトに期待したいと思いました。著作権処理が必要だとは知りませんでした（学外/その他）
- ・コンテンツと学習環境の重要性が理解できた（学外/その他）
- ・アカデミックリンクセンターの概要がわかりました。これまで名称だけで情報がありませんでしたので（学内/教員）
- ・アカデミックリンクの構想とプロジェクト（7つ）の概要（ー/教員）
- ・U-stream 配信（学内/教員）
- ・アカデミックリンクを知らなかったのでほとんどすべてが発見でした（学内/学生）
- ・図書館という場所が自らで勉強する一つの場として考えていたが、学生相互の学習の場にしようとする取り組みがあること。図書館に今せまられている現状が何か。（学内/学生）
- ・図書館という空間に対する従来の概念を打ち破ろうとする計画だということはよく分かりました。学生の存在が中心にあるという理念は学生がもっと自覚すべきですね。（学内/学生）
- ・図書館のラーニングコモンズは施設や人的支援ばかりが目立がちと感じていました。その中で、コンテンツを重視するというアカデミックリンクの取り組みは新鮮に感じました（ー/大学職員）
- ・コンテンツを利用する力を身につけるためという趣旨に賛同です。個人的な意見として断っていらっしゃいましたが、SAと奨学金を絡めて、というのも参考になります（ー/大学職員）
- ・構想とプロジェクトの位置づけ（学内/大学職員）
- ・利用行動定点観測プロジェクト。実際に行われたら大変興味深いものになると思います（学外/ー）
- ・アカデミックリンクの全体像が良くわかりました（学外/出版関係）
- ・アカデミックリンクセンターの理念を7つのプロジェクトで実現していく、という点が非常に興味深かったです。それぞれのプロジェクトをどのような体制、スケジュールで実行していくのか、更に詳しくお聞きしたかったです。（学外/出版関係）
- ・全体的な理念は伝わってきた気がします。構想図は、でも、いまいちスッと入ってこない気が…（学内/大学職員）
- ・様々な情報を電子化したコンテンツを一カ所にまとめ学生が学習に利用できる場所を提供すること。学生が学習相談にのるシステムを考え中であること。（学内/大学職員）
- ・アカデミックリンクセンターで学生の学習方法が変わっていくのだろうということがわかった。具体的な仕組みはこれから各プロジェクトで検討されることだろうけど、具体的にになったらまた参加して聞いてみたい（学外/その他）
- ・アカデミックリンクセンターでは、学生が学習における行動を行うにあたり、最適な環境を用意したいということ。何かしたい、と考えたときに、まず「アカデミックリンクセンター」を利用しよう、と思える場所になりたいという点。電子かにおいては千葉大学内にとどまらず、他大学との連携の可能性もあるかも。（学外/ー）
- ・立派な建物ができる。人的支援もすごそう？（学内/学生）
- ・アカデミックリンクのビジョンがよくわかった（学内/学生）
- ・Digital Course Pack や Legacy Contents についてとても興味深く聞かせていただきました。うまく実現することができれば、授業の広がりが出、学習環境が改善されるだろうと期待が広がりました。図書館に「授業の参考文献が見つからない」と言ってくる学生も減るでしょうね（笑）（学外/大学職員）
- ・「コンテンツを活用できる力を身につける」→生涯学び続ける能力を身につける、という視点が新鮮でした。（学外/その他）
- ・「コンテンツを利用した学習相談」とコンテンツの作成・収集・提供が結びついた構想にユニークさを感じた。（学外/大学職員）

## 1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。(続き)

- ・図書館と学習支援の動向について (学外/その他)
- ・SA については、コンテンツへの人的な検索エンジンをイメージしました (ー/その他)
- ・日本の大学教育の中で、授業 (教員) や図書館 (図書館員) やその他の部署を、こんな風に連携させていこうとする試みが本当に始まるろうとしていることを実感として感じられました。とても刺激的な時間でした (学外/学生)
- ・従来の図書館では捉えられない千葉大学全体の大きな取組みであることが伝わってきました。情報利用行動定点観測プロジェクト、SA がとても興味深かったです (学外/学生)
- ・7つのプロジェクトのお話が刺激的でした。特に、情報利用定点観測プロジェクトの成績や履修と結びつけて分析、というのは大変面白いです。ぜひ実現を! (学外/学生)
- ・千葉大学アカデミックリンクの理念 (学外/学生)
- ・教員と、そして大学職員である図書館員が大きく関わっていくことがわかった (ー/大学職員)
- ・学生の生涯学習力を育成するために学習コンテンツと学習空間を組み合わせたサービスを提供しようとしていること (学外/教員)

## 2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・アカデミックリンクセンター自体の学内の位置づけなど。今後折を見て伺うことに致します (学外/ー)。
- ・アクティブラーニングスペース=ラーニングコモンズ (場) のことをさしているのかどうか。実際どのようなリテラシー教育をやってこられたのか。普遍教育のみを対象にした情報 (コンテンツ) とサービス (人的) ののかどうか。ブツクリーのような象徴的なものをあえておく意味。コンテンツを置く? (学外/その他)
- ・図書館とアカデミックリンクの連帯がよくわからなかった (学外/その他)
- ・最終的に学生が自主的に参画すること (アクティブ) が理想だと思いますが、そこに至までの方法、ロードマップなどが示されると良かったと思います (ー/教員)
- ・大震災後の多く作られた委員会、対策本部と同様に感じます。「図書館の機能拡大」であって、別にセンターを作る必要はあるのでしょうか? (学内/教員)
- ・教員に対してどれほど徹底させていくのか。情報の集中化がないと不便に感じ、自由参加だと浸透しないのではないか。コンテンツを利用した学習相談によって何を相談するのか。総合的、学習内容 or コンテンツの利用方法 (学内/学生)
- ・一般の方をあまり考えていらっしやらないという様な発言があったのですが、大学が学術を社会へ提供する場所であって、十分に考えるべきではないのかと思いました。参加する学生だけでなく、一般の方が教えてほしいという場合にもいつ何時に行けば、こういうことを聞けるとということが分かるとこれから社会人となる身でありがたいです (学内/学生)
- ・学生の自主性に重きをおくということですが、アカデミックリンクの環境を最大限に利用する為にはその利用方法を熟知していないと難しいと思います。その為の学生への指導の増強を行っていく計画はあるのでしょうか。オンラインクラスルームプロジェクトの学生の利用法は提供される教材はどのようなものなのでしょうか。 (学内/学生)
- ・既存の図書館も含め、新しいサービスの形が良くわかりませんでした。実際走ってみなければよくわからない部分だと思います (ー/大学職員)
- ・学内でのインパクト (学内/大学職員)
- ・H24 年からプロジェクトスタートとのことですが、実際に著作権処理の運営が始まる時期はいつ頃を想定されていますか? (学内/教員)
- ・各プロジェクトそれぞれに疑問がありますが、今後の性な一等でおいおい理解していきたい (学外/出版関係)
- ・アカデミックリンクの実現可能性>具体的なアプローチを教えてください (学外/出版関係)
- ・学生の立場として授業資料ナビや moodle を使いたい授業は普遍ではなく、学部で行われる専門の授業です。しかし、現状ではコアや教養展開科目など、専門外の授業で moodle を使うよう指導されることがほとんどです。学部の教員、授業に使用していく予定はあるのでしょうか (学内/学生)
- ・「新しい図書館員」プロジェクトについて詳しくお聞きしたかったです。これからの図書館員に求められる能力、働き方、キーワードだけでも知れるとありがたいです (学外/出版関係)
- ・具体的なイメージが少ないこと。また「体制づくり中なので」を理由にしており、また、運営母体というか組織が不明確 (学内/大学職員)
- ・ビジョンは理解できたが、それぞれどう具体的に展開していくのか (学内/学生)

## 2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。(続き)

- ・検討中とお話がありましたが、SA をどのように募るかについては今後が気になるなと思いました。認知度を高める具体的な方法がいまいちわかりませんでした(学内/大学職員)
- ・SA(学習相談)に大変興味があります。学生相談室を利用する学生には、大学での学習相談室を利用する学生には、大学での学習に困難を感じている学生も多いので、期待しております。しかし、補習レベルの困難から(これもなかなか対応むつかしい)、研究のこと(研究室で解決しない、聞くことができない!)も多くなります。また、SA についてもピアカウンセラーに関わっているのですが、いろいろと難しいところがある(相談でない、研修の難しさ、対応の難しさ、相談員のモチベーションの維持)ので、ぜひ、参考にさせていただきたいと思っています。よろしく願いいたします。(学内/大学職員)
- ・まだビジョンがまとまりきっていない(学外/ー)
- ・愛称募集の用紙に「アクティブな云々」とあったので「白熱教室」のようなものを想像していました……が、そういうこともできそう?(学内/学生)
- ・大学あるいは所属団体が用意してくれたコンテンツを自発的に使うことと生涯学び続ける能力、というのがうまくつながりませんでした。すでにあるものを使うことと、自ら見つける能力とは、どうつなげていくのでしょうか?(学外/大学職員)
- ・SA への研修をどう取り組んでいくのか(学外/その他)
- ・アカデミックリンクを推進するために、職員・教員の役割、業務の中身がどのように変わっていくのか、図書館とアカデミックリンクセンターの役割を分ける必要があるのか?千葉大はなくなっても千葉大のアカデミックリンクは残るといことは「矛盾」していませんか?教員と職員の役割は教育・支援という面で、はっきりしているのでは。(学外/その他)
- ・教員がこのようなプロジェクトにどれ程積極的に関わる姿勢を持っているのか、というところがもっと知りたかったです。分野ごとのサービスには分野ごとのニーズを知ることが必要ですが、そのニーズはどのような形で吸い上げられるのか、気になりました(学外/学生)
- ・数学/語学で専門を区切った SA、というお話がありましたが、どれくらい細かい専門に分けられるものでしょうか?その特定プロセスは?(学外/学生)
- ・運用が始まってから実態を報告して頂きたいです(学外/学生)
- ・SA については、SA になる学生に相当負荷や時間を費やさせることになると思った。就職活動や SA 自身の卒論・修論等の作業がある中での、SA の学生にゆだねることができるのかどうかと思った(ー/大学職員)
- ・著作権の手続き等の担当と Moodle への活用を支援する担当(学外/教員)

## 3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・学生の取り入れ方のアイデアに関して(千葉大/学生)
- ・能動的に学ぶ学生を支えるスチューデント・アシスタントの役割や育成について(学外/ー)
- ・学生の本当の実態が知りたい。授業にどのくらい出席しているのか。どのくらい図書館を利用しているのか。また、ICU や東京女子大で TA は本当に有効に機能しているのか。他大学の実態を知りたい(学外/その他)
- ・LMS の事例報告やワークショップなど。特に積極的に導入している大学の事例(こんなことができる。これはこうすればいい、etc)を学ぶ機会があると助かります(ー/教員)
- ・コンテンツの電子化に際しての著作権処理の具体的内容(ー/ー)
- ・アカデミックリンクを実践している図書館の紹介(学内/学生)
- ・他大学や教育施設、家庭とのこれからのつながりについてあるべき姿についてや現在の取り組み(学内/学生)
- ・学生による学習支援に近いことはすでに学内で行われている。今あるそうした資源を活用した SA 体制、ということに興味があります(学内/大学職員)
- ・SA についてもっと詳しく(学内/学生)
- ・情報利用行動定点観測プロジェクトは、もう少し詳しく扱ってほしいと思います。(学外/その他)
- ・コンテンツの内容、そのものの善し悪しをどこで判断するかが少し疑問に残りました(ー/その他)
- ・新しい図書館員についてより深い議論の場があって欲しいです(学外/学生)
- ・本日説明のあった7つの機能の1つ1つを、必要な予算も含めた運営のあり方とともにうかがいたい(学外/教員)

#### 4. 本日のセミナーの内容、電子出版、大学教育の情報化などについて、自由にご意見をお書きください。

- ・能動的に多様な目的をもつ学ぶ学生を支える取り組みとして、大変意義深いと感じております。今後とも注目させていただきます。(学外/ー)
- ・次回も楽しみにしています。聴講されている方のPCをたたく音が気になりました。次回以降は座席を分離していただけると幸いです。(学外/その他)
- ・生協の取り組みで学内に生活相談コーナーがもうけられている。そこでは学生が学生の生活の相談にのるのだが、学習の相談という場としては特化していない。学生による学生の為の学習相談という新たな場には大いに期待したい(ー/ー)
- ・もしSAを将来的に学生組織にすることがあるなら、また、学生を主体にしたいならアカデミックリンクのプロジェクトに学生を委員として参加させたほうが良いと思います(学内/学生)
- ・全体的に具体性がまだ見えないので、自身の利用している姿や今後の積極的利用方法が少し結びつきにくかった部分がありました。学生対象にセミナーを行う際は、未決定だとしても、具体例と共にプロジェクトを紹介していただくと興味が持てるのではないかと思います。教室後方だと少々声がこもって聞こえづらい部分がありました(学内/学生)
- ・具体的などころはまだ未定などころが多かったようですが、新しい試みが成功しておもしろいものになりそうだと思います。ハードルは相当高そうですが(学外/ー)
- ・空間+コンテンツ+人的=アカデミックリンクだとすれば、前の2つは時間と資金で解決できるが、「人的」の部分は一番むつかしく、そして一番大事なのかな、と感じた。コンテンツだけが一人歩きしないか心配します。(学外/出版関係)
- ・電子出版の再評価>一時取り上げられていたような盛り上がり沈静化しているように考えられます。実際にビジネスモデルがモデルとして日本に存在するのか?(学外/出版関係)
- ・学生の意見を取り入れるとはいいいながら、次回セミナーの開催地が学外であることにガッカリしています。学生は置いてけぼりといった印象を受けました。(学内/学生)
- ・コンテンツ部分のやりとりは正直良くわからなかった。アカデミックリンクで一番大切にしていることは何なののでしょうか?(学内/大学職員)
- ・科学コミュニケーションの場としての位置づけをもう少し考えていただきたいと思いました。東京大学でサイエンスインタープリタ、国立科学博での科学コミュニケーター等で学芸員の新たな形として人育成を育成しているようです。科学コミュニケーションでないとしても新しい図書の形を考えるとすれば(図書館も新しい形とするならば司書もおのずと変化せざるをえないと思いますので)ノウハウとして役立つ部分があるかと思いました。ぜひ今までの図書館の延長でない部分に期待します(学内/学生)
- ・学生の利用ありきの施設となるので、学生に対してどうアピールするかもポイントになると思いました(学内/大学職員)
- ・大学教育の情報化について思うこと。社会に求められているタイムリーな分野の講義や講演会は動画にしてYoutubeやi-podで見れるようにしたらどうでしょうか(「地震と火山」「放射線に関する基礎知識」など……)(学内/学生)
- ・これからのアカデミックリンクに期待しています。成功を祈っております!他大学でも導入できるようなモデルorパッケージみたいに最終的になれば、いいなと思いました。(難しいでしょうけど)(学外/大学職員)
- ・SAに関するQ&Aが非常に有益でした。有難うございました。(学外/その他)
- ・学習相談へのニーズの高さは私の大学で行ったアンケートでも実感した。学習相談の場が図書館である必要はないが、豊富なコンテンツをもつ図書館にはなじむものであり、そうした場の提供を通して、図書館員のあり方も変わっていくべきものと考えます。(学外/大学職員)
- ・著作権の加点(原文ママ)、がないとコンテンツそのものの質が悪くなるような気がしました(ー/その他)
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました(学外/学生)
- ・セッションの最後の方で出た意見でしたが、図書館の方は概して学生へのPRが下手だと思います。運営のアイデアを学生からもらう仕組みがあればよいと思います(学外/学生)
- ・大変にためになりました。ありがとうございました(ー/大学職員)
- ・たいへん充実したセミナーをありがとうございました(学外/教員)

5. 該当するものに○をつけてください。

ア 学外から参加 (15件) イ 学内からの参加 (16件)

a 学生 (12件) b 教員 (5件) c 大学職員(図書館員も含む) (9件)

d 出版関係 (3件) e.その他 (7件)

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

※23名が新規に継続的な情報提供を希望

以上

2011年6月10日/千葉大学総合校舎A号館2階 A212教室  
アカデミック・リンク・セミナー(第1回)「アカデミック・リンク, はじまる」  
参加者 アンケート

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

4. 本日のセミナーの内容、電子出版、大学教育の情報化などについて、自由にご意見をお書きください。

5. 該当するものに○をつけてください。

ア 学外から参加      イ 学内からの参加

a 学生   b 教員   c 大学職員(図書館員も含む)   d 出版関係   e その他

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：( )

ご所属：( )

電子メールアドレス：  申込時に申請したもの  それ以外( )

ご協力ありがとうございました。